

第2次春日部市総合振興計画前期基本計画重点プロジェクトの
進捗状況（令和4年度実績）

1 3つの重点プロジェクトの

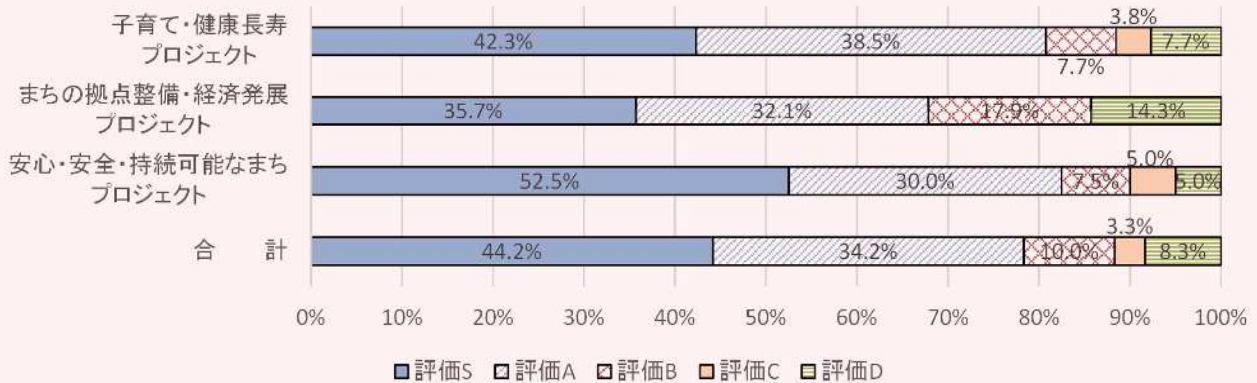
3つの重点プロジェクト	評価S	評価A	評価B	評価C	評価D	達成率
子育て・健康長寿プロジェクト	42.3%	38.5%	7.7%	3.8%	7.7%	
まちの拠点整備・経済発展プロジェクト	35.7%	32.1%	17.9%	0.0%	14.3%	28/32
安心・安全・持続可能なまちプロジェクト	52.5%	30.0%	7.5%	5.0%	5.0%	40/40
合計	44.2%	34.2%	10.0%	3.3%	8.3%	120/125 (※)

3つの重点プロジェクトの各事業における成果指標の達成率を評価SからDまでに分類し、それぞれの事業数と割合を、一覧とグラフで示しています。

(S：成果指標の達成率100%以上 A：同80%以上100%未満 B：同60%以上80%未満
C：同40%以上60%未満 D：同40%未満)

※ うち5事業は、当該年度の評価対象値がないため、事業数から除いています。

プロジェクトごとの事業評価割合



2 課題や今後の方向性

総合振興計画 進行管理本部会議 (2次評価)	令和4年度、重点的かつコロナ禍で44.2%、後期基本計画がスタートする令和5年度以降は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行し、中止していた事業が再開されます。今後は、まちの将来像の実現に向けて、コロナ禍で得たノウハウを生かして、各施策を推進していく必要があります。
総合振興計画審議会 (市民評価)	3つの重点プロジェクトを構成する各事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、未実施や目標値を達成することができなかった事業が見受けられます。新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行し、日常が戻ってきたため、今後は、コロナ禍で得たノウハウを生かし、まちの将来像の実現に向け、だれもが「住んでみたい、住み続けたい」と思う、だれからも「選ばれるまち」を目指した取組みを推進してください。

各重点プロジェクトや具体的な取組として掲げる各事業の評価結果等を基に、事業担当課による自己評価や今後の方向性に対し、その妥当性について庁内本部会議（2次評価）及び総合振興計画審議会（市民評価）の結果を示しています。

《子育て・健康長寿プロジェクト》

1 事業評価割合

重点プロジェクト	事業評価ごとの事業数と割合					合計 事業数
	評価 S	評価 A	評価 B	評価 C	評価 D	
子育て・健康長寿 プロジェクト	22	20	4	2	4	52/53
	42.3%	38.5%	7.7%	3.8%	7.7%	(※)

重点プロジェクトとして掲げる事業における成果指標の達成率を評価SからDまでに分類し、それぞれの事業数と割合を示しています。

(S：成果指標の達成率 100%以上 A：同 80%以上 100%未満 B：同 60%以上 80%未満 C：同 40%以上 60%未満 D：同 40%未満)

ため、事業数から除いています。

方向性の矢印についての定義です。

評価一覧

【△】：拡充（予算・取組増の上で継続）【→】：現状維持（計画通り継続）
 【■】：見直し（改善の上で継続）【↓】：縮小（縮小・休止・廃止を検討）

達成率	事業 評価	担当課名	方向性		
			担当課	本部 会議	審議会 (市民評価)
100.5%	S	こども政策課	→	→	→
93.6%	A	こども政策課	→	→	→
100.0%	S	こども政策課	→	→	→
87.5%	A	こども政策課	→	→	→
103.1%	S	こども相談課	→	→	→
141.7%	S	こども相談課	→	→	→

各事業の成果指標の本年度の目標値に対する達成率と、達成率に応じて分類した評価SからDの事業評価を示しています。

各事業の成果指標の達成状況等を基に、今後の方向性について、事業担当課、庁内本部会議（2次評価）及び審議会（市民評価）の結果を示しています。

①-10	特定教育・保育施設等整備事業費補						
①-11	施設型給付一時預かり事業	87.5%	A	保育課	→	→	→

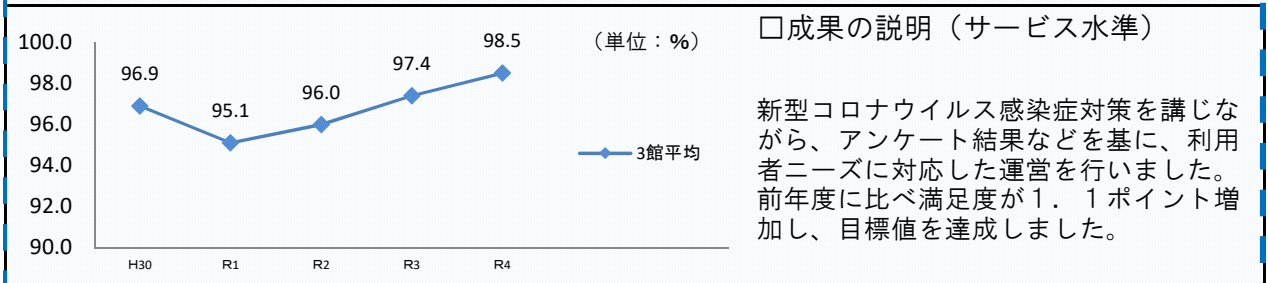
■今後の方向性における「拡充・現状維持・縮小」の定義

- 拡充**：施策・事業における取組の計画を拡大・強化することで、施策・事業の目的の達成を図るもの
 (例)・新たに事業を始める(事業を増やす)
 ・予算を増やす(扶助費等の義務的経費の増は拡充とならない)
 ・体制を強化する(新たに組織を増やすなど)
 ・市の発展に向けて重点的に力を入れて取り組むもの など
- 現状維持**：施策・事業における取組を計画通り進めることで、施策・事業の目的の達成が図られるもの
 (例)・今後も予算規模を同じ水準で確保しながら、計画通り事業を進めていくもの
 ・事業内容の見直し等、調整を図りながら、概ね計画通り事業を進めていくもの など
- 縮小**：施策・事業における取組の計画を縮小・弱めて、施策・事業の目的の達成を図るもの
 (例)・事業が終了するもの
 ・制度変更に伴い事業の規模が小さくなるもの
 ・他の施策と比較して、優先順位が低いと判断されたもの など

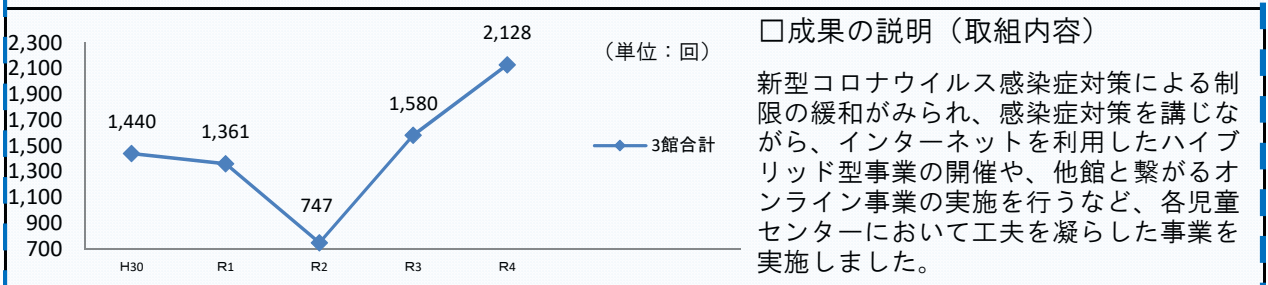
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	1-1-1	実施計画	1	1	1	1	1
事業名 (補助金名)	児童館運営事業	事業の内容や成果指標、現状と課題等を示しています。					
事業内容	児童の健全育成を図るため児童センターにおいて、さまざまな事業を展開することにより、子どもの居場所・遊び場の提供を行います。	事業開始年度	平成17年度				
		事業見直し年度	令和2年度				
成果指標	児童センター利用者の満足度	現状値 (平成29年度)	96.4%				
現状と課題	本市では、子どもが安心して過ごせる場所として、児童センターの整備を進めてきましたが、多種多様なニーズに対応されています。						
		各事業において設定した成果指標の各年度の進捗状況を、達成率とグラフで示しています。また、取組内容と決算額の各年度の推移をグラフで示しています。					
成果指標の目標値	平成30年度						%
成果指標の実績値		96.9%	95.1%	96.0%	97.4%	98.5%	%
達成率		100.2%	98.0%	98.7%	99.8%	100.5%	%
決算額(千円)		181,535	191,492	203,828	210,360	218,079	

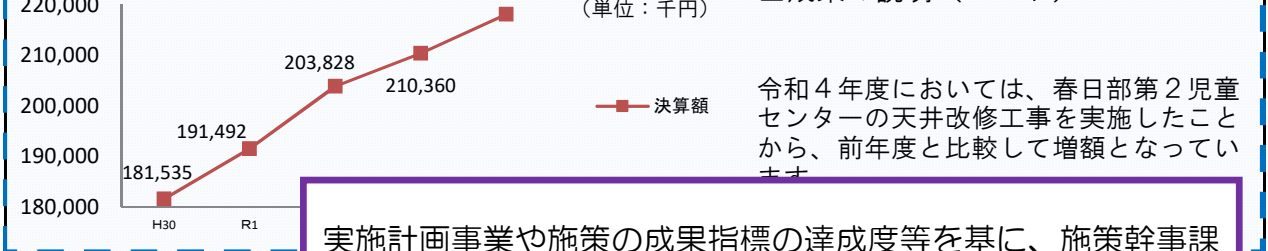
1 児童センター利用者の満足度



2 児童センター事業実施数



□成果の説明（コスト）



実施計画事業や施策の成果指標の達成度等を基に、施策幹事課による自己評価や今後の方向性を示しています。

令和4年度の評価
各児童センター問題点等は即座に対応し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、利用人数や利用時間の制限を行っていたものの、令和4年9月から、利用人数及び利用時間の制限を解除し、運営しております。制限を緩和するとともに、利用者が安心して利用できるよう、消毒や換気等の基本的な対策を講じ、工夫を凝らした事業を実施したことで、満足度が前年度を上回ったと考えています。

今後の方向性
現状維持
今後も、利用者のニーズに沿った多様な事業を展開し、より充実した子どもの居場所づくりを進めていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討